



2023年5月15日

雪印メグミルク 2050年カーボンニュートラル宣言

雪印メグミルク株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 雅俊）は、2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロにするカーボンニュートラルに向けた取組みを進めることを宣言いたします。

■雪印メグミルク2050年カーボンニュートラル宣言

雪印メグミルクは、「食の持続性」を実現するため、気候変動や酪農生産における課題を解決し、2050年に向け、カーボンニュートラルを目指します。

当社は、社会的・経済的価値を同期化させた「サステナビリティ経営」において、2030年度までにCO₂排出量を2013年度比50%削減する目標をKPIとして定め、グループ一体で脱炭素の取組みを推進しています。

現在、当社3工場で太陽光発電設備導入を進めており、今後、脱炭素社会を実現する取組みをさらに加速してまいります。

◆3工場で導入する太陽光発電設備の概要



<海老名工場：外観>



<海老名工場：太陽光パネル>

工場名	発電容量(kw)	発電量(Mwh/年)	CO ₂ 削減量(t-CO ₂ /年)	稼働予定
海老名工場	205	323	123	2023年6月
阿見工場	1,005	1,380	603	2025年2月
京都工場	380	626	228	2025年2月
合計	1,590	2,329	954	

◆2030年に向けた主な脱炭素施策

1. ボイラ設備の燃料転換（対象：3工場 ⇒ 1工場完了）
2. メタン発酵設備導入（対象：大樹工場 ⇒ 2023年4月稼働開始）
3. 再生可能電力の使用（対象：検討中）
4. バイオガス、水素等未利用エネルギーの活用（対象：検討中）

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

雪印メグミルク株式会社
広報IR部 広報グループ
TEL 03-3226-2124 FAX 03-3226-2150
E-mail msb-pr@meg-snow.com